

プロ用
KDK-130
MAX.AC415V
50/60Hz共用

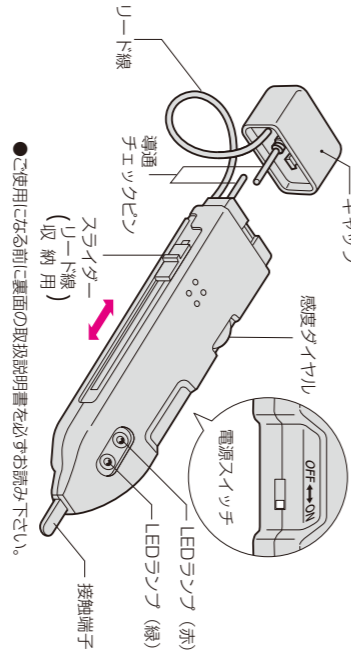
音と光で検電

被覆の上から100V・200Vの区分検電と同時に極性チェックもできる

●導通チェック機能付

未来工業株式会社

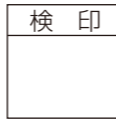
未来工業株式会社



〈各部名称〉

■電源 アルカリボタン電池 R44(1.5V)2個
電池寿命:通常使用で約1年

●ご使用になる前に裏面の取扱説明書を必ずお読み下さい。



取扱説明書

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をすべてよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

注意

故障の原因になりますので以下の行為は行わないで下さい。

- 本体を水に濡らしたり、濡れた手でのご使用は避けて下さい。
- 乱暴に扱ったり、落としたりしないで下さい。
- 高温(50℃以上)、多湿での保管は避けて下さい。
- 分解しないで下さい。
- 長時間使用しない場合は電池を取り外して保管して下さい。

裏面をご覧ください。

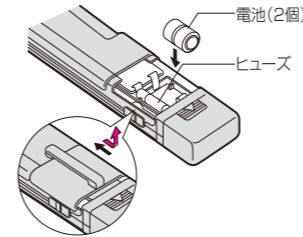
ご不明な点や修理を依頼される時は、お買い上げの販売店又は、弊社営業窓口までお問い合わせ下さい。

未来工業株式会社

住 所：大垣市外・輪之内町 〒503-0295
T E L：(0584)68-0008(代) 連絡先：営業企画課
OH 0120

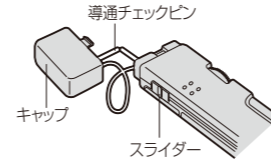


準備



- ①裏蓋の電池カバーをパチンと先端方向にスライドさせ、カバーを取り外します。
 - ②電池をセットし電池カバーをはめます。
- ※電池は向きにご注意下さい。
※この時にヒューズ切れもチェックして下さい。
※電池カバーはパチンとロックするまではめ込んで下さい。

電池容量チェック



- ①電源スイッチを入れます。
- ②スライダをキャップ方向にスライドさせた後キャップをこじる様に外します。

注意 引っ張り過ぎるとリード線が切れる恐れがあります。

- ③導通チェックピンを短絡(接触)させます。ブザーが鳴りLEDランプが点灯すれば電池容量はOKです。
- ④電池容量確認後スライダを戻しながらキャップをはめます。

感度調整

- ①100Vのケーブル又はコンセントの正極側でLEDランプ(緑)が点滅するまで感度ダイヤルを「MAX」方向に回し、その位置で止めます。
- ②数箇所確認した後、負極側では反応しないことも確かめて下さい。

検電方法

LEDランプ発光状態を下表より照らし、区分検電して下さい。

※通電していれば正極側のみブザーが鳴り、LEDランプの発光により極性チェックをします。

LEDランプ発光状態(正極側)

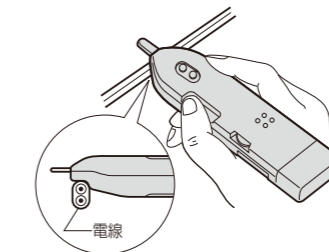
対象電路	LEDランプ(緑)	LEDランプ(赤)
単相2線式 2極	⊖○⊕	—
// 3極	⊖○⊕	●
単相3線式 2極(100V)	⊖○⊕	—
// (200V)	⊖○⊕	—
三相3線式(単相200V)	⊖○⊕	●
// (三相200V以上)	⊖○⊕	●

発光状態：⊖○⊕は点滅、●は点灯

ご注意

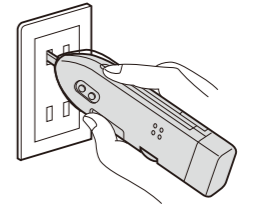
- 200V以上の場合、電路が近接していると、アース線に対してもLEDランプ(緑)が点滅することがあります。
- 三相3線式で変形デルタ結線等を用いている場合は、全ての線に反応します。

電線の場合



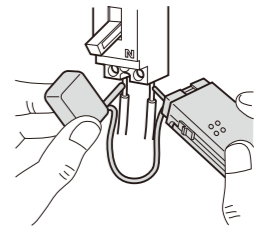
- 本体をしっかり握り、電線に本体先端下部(凹部)を接触させます。
※上図参照

コンセント等(金属体)の場合



- 本体をしっかり握り、先端の接触端子をコンセント等に接触させます。

導通チェック



- ①スライダをキャップ方向にスライドさせた後キャップをこじる様に外します。
 - ②導通チェックピンの間に測定物(金属体)を置き、接触させます。
- ※導通していればブザーが鳴り、LEDランプが発光します。

注意 導通チェックを行う場合は検電機能で通電していない事を確認して下さい。

- このパッケージに使用のケースはPETです。